

親子向け

# 移住者交流会 を開催します

土地勘もなく知り合いもない場所での生活は、誰もが不安に感じるものです。市では、昨年度から移住をキーワードとした交流や地域情報の交換の場として、移住者交流会を開催しています。

今回は、家族のためのメモリアル写真雑貨アドバイザーとして活動する“べら美”さんを講師に迎えて、世界にひとつだけのアルバムを作成します。この夏の思い出をアルバムにして、市内外のお出掛けスポットや我が家の夏の定番について、情報交換しませんか。

平日は仕事で忙しいパパも、夏休み最後の思い出づくりにお子さんと一緒にご参加ください。

とき／8月27日(日) 10:00～12:00

ところ／市民交流センター(大仁くぬぎ会館) 工作室

対象／移住した人、移住を希望する人、移住を支援したい人

定員／12組

内容／『この夏の思い出を親子でアルバムに』

持参した写真でアルバムを作成し、ワークショップ形式で情報交換します。

持ち物／はさみ、テープのり、写真(この夏の思い出の写真を6枚以上持参してください)

その他／参加無料。事前に申し込みください。

市役所政策推進課 ☎055-948-1413



国際交流員がモンゴルを紹介!

## サロールの一言

第5回(全12回)  
「夏の食べ物」



伊豆の国市に来て気が付けばもう1年です。たった1年ですが、温暖な気候とイチゴやミカンといったおいしい果物も多くある伊豆の国市が大好きになりました。最近では、1日に1個食べられるくらい、スイカが我が家で大人気です。

この時期は特に、スイカやかき氷といった冷たい食べ物がいいですね。また、そうめんや冷やし中華、そばなど日本の夏に適した料理もあります。料理といえばアツアツのもの食べる習慣のあるモンゴル人にとって、最初は不思議でした。温暖化が進む近年、猛暑になるモンゴルでも、夏の食べ物としてはやりそです。

もともと食欲がなくなりがちな夏、モンゴルでは、乳製品をメインに食べていました。男性は「アイラグ」と呼ばれる馬の乳で作られるお酒(馬乳酒)を飲んでいました。不思議

市役所政策戦略課  
☎055(948)1415



「アイラグ」を大きな器で豪快に飲む

議とこれを飲んでみると、おなかですきません。タンパク質とビタミンが豊富なため、栄養も十分にとれる、体にいいものとして好まれる飲料です。7月から8月の短い期間でしか作られない貴重なもので、8月まではできるだけ馬乳酒を飲もうという人が多いのです。遊牧民の伝統と知恵が詰まった飲み物なので、説明すると長くなりそうです。興味のある人は、直接私に聞いてください。

※「アイラグ(馬乳酒)」は、アルコール度が1度から5度までで、家庭で馬の乳を発酵させて作る。

# 伊豆の国市地域おこし協力隊に 千田一徳さんが着任!

市役所政策推進課 ☎055-948-1413  
市役所農業商工課 ☎0558-76-8003



小野市長から委嘱を受ける千田さん

4月から活動を開始した「伊豆の国市地域おこし協力隊」に、新たな隊員が加わりました。7月1日付で着任した千田一徳さんです。千田さんは、大仁まごころ市場を拠点に、大仁まごころ市場の運営支援や農村振興事業などの活動をしていきます。



## 千田一徳 隊員

今後の活動概要

- (1) 大仁まごころ市場(地場産品直売所)の運営支援
  - 販売・事務仕事の補助
  - インターネット・SNSなどを活用した情報発信
  - 新たな事業展開(販路開発、試験的取組、6次産業化など)
- (2) 農村振興事業
  - 中山間地における「まちづくり組織」と活動を共にし、地域おこしを実施
  - 地域資源の再評価、掘り起こしによる「着地型商品」の開発・企画の実施(観光課の隊員と協働)

年齢：33歳

特技：英語(青年海外協力隊として、ウガンダ共和国で稲作農業振興開発の支援活動の経験あり)

新コーナー!

## Hello 協力隊!

### ～伊豆の国市地域おこし協力隊活動報告～ Vol.1

このコーナーでは、伊豆の国市地域おこし協力隊員が活動報告や市の魅力をお伝えしていきます。第1回は4月に着任した武本奈々さんが担当します。



この3カ月間とにかく自分が気になるところをまわっていました。気になったら足を運んでの繰り返しでした。自分自身が地域を知りながら、地域の人たちと仲良くなるためだったのですが、皆さん本当に優しい。よそ者の私でも皆さんが優しく仲間に入れてくれるのでとてもありがたかったです。

これからもいろいろなお邪魔するので、見かけたときはぜひ声をかけてください。



広角レンズを使って撮影した葦山反射炉



一句石の「女将さんのバラ園」たくさんの種類のバラが植えてあってとてもキレイでした!!

▶伊豆の国に来て3カ月たったの感想は?とにかく「のどか」の一言です。人も、地域もとてもどか。

関西出身の私はすぐにせかせかしてしまうのですが、この地域の人たちはそれが一切ないのです。いいなあと思います。

▶今後どんな活動をするの?来年の1月13日から開催される伊豆の国を盛り上げるための大きなイベントを、事務局として運営していきます。市民の皆さんが楽しめるように全力で頑張っていきますので、皆さんもぜひご参加ください。

協力隊の活動はこちらでチェック!



伊豆の国市地域おこし協力隊

検索